



外国出張報告書

平成 27 年 2 月 10 日

1. 出張国名 メキシコ・パラグアイ・アルゼンチン
2. 出張月 平成 27 年 1 月～2 月
3. 出張目的 畑作安定供給プロジェクトにおける新規共同研究の検討及び
 ダイズさび病抵抗性育種に関する試験の実施：B

4. 成果の概要

- ・畑作安定供給プロジェクトにおける新規共同研究の検討

メキシコ国立農牧林研究所（INIFAP）のHuastecas試験場及びRio Bravo試験場を訪問し、担当者と共同研究の具体的内容について協議するとともに、施設・設備を視察した。共同研究内容については、現在南米3ヶ国の研究機関と実施しているダイズさび病に関する共同研究（さび病菌の病原性モニタリングやさび病抵抗性品種育成）と同様の内容が適当だが、実施のためには担当者のトレーニングとある程度の研究資材の確保が必要であることが分かった。

- ・ダイズさび病抵抗性育種に関する試験の実施

DNA選抜マーカーを利用した連続戻し交配育種について、Nikkei-Cetaparでは連続戻し交配と3遺伝子を導入した個体の選抜、系統育成が終了している。育成した複数の系統について、生産能力試験と品種予備登録を行うため系統の選抜と種子の増殖を実施中の2箇所を訪問し、主要形質の評価状況を現地担当者と共に確認した。

その他、IPTA-CICM、INTA-Cerro Azulを訪問し、育種の進捗状況の確認や今後の計画等の協議を行った。